

平成31年度当初予算

# 市長説明

前橋市



平成31年度当初予算案の概要について、ご説明申し上げます。

本市では、平成30年度からの10年間を計画期間とした「第七次前橋市総合計画」を策定し、将来都市像である「新しい価値の創造都市・前橋」を目指して、計画に位置づけた施策を順次進めているところです。

平成31年度当初予算編成においては、この総合計画の推進をはじめ、地域経営の視点や地方創生への取組、効率的な事業運営などを基本的な考え方として、市町村合併の特例期間終了に伴う普通交付税の段階的な縮減等による厳しい財政状況下においても、本市が輝かしい未来に向けて飛躍できるような予算としてまとめたところであります。

それでは、当初予算の概要について、ご説明申し上げます。

本市の平成31年度一般会計の歳入歳出予算は、1,440億9,794万1千円で、対前年度では0.5%の増となっております。

はじめに、歳入であります。市税収入のうち個人市民税は、給与所得の増加等により、前年度と比べ約9千万円の増額を見込んでおります。一方、法人市民税は、企業の経常利益の減等により、約3億2千万円の減額を見込んでおります。

固定資産税は、新增築家屋の増加等により、約4億6千万円の増額を見込んでおります。

これらに、事業所税や都市計画税などを合わせた市税収入全体では、対前年度0.6%増となる約537億円を見込んでおります。

地方交付税は、合併特例措置の段階的な縮減の影響などから、7億円の減額を見込んでおります。

国庫支出金は、認定こども園施設型給付費負担金の増等により、約7億1千万円の増額となっております。

市債は、臨時財政対策債等の減要素はあるものの、

消防通信指令システム更新や、新たな道の駅整備等の増要素が大きいことから、前年度と比べ約2億4千万円の増額となっております。

次に、歳出であります。第七次総合計画における6つの「まちづくりの柱」に沿って、主要な事業についてご説明いたします。

## 1 教育・人づくり

多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちづくりに取り組んでまいります。

「個性を伸ばし、主体性を育む人づくり」、「学び合い、高め合う人づくり」では、2020年からの小学校新学習指導要領全面実施に伴う外国語教育の導入に対応するため、前橋イングリッシュサポーターによる、市内全小学校の3、4年生の英語教育の充実を引き続き推進するとともに、学習指導の充実と教員が子供と向き合う時間の更なる確保のため、小学校の

教科指導講師を増員いたします。

また、中学生を対象とした地域寺子屋事業では、実施地区の更なる拡充を図り、生徒主体の学習活動を進めてまいります。

このほか、通常学級での学習が困難な児童や生徒の個別指導を行うほっとルームティーチャーや、特別支援学級介助員を増員し、特別支援教育の充実に取り組んでまいります。

学校教育施設の整備では、統合新設したわかば小学校の大規模改造工事を進めるほか、春日中と広瀬中の統合校である明桜中の校舎となる、旧天神小の校舎大規模改造工事と体育館の新設工事に着手し、開校の準備を進めてまいります。

社会教育施設の整備では、南橋公民館本館の耐震化のための改築工事を継続するほか、老朽化した永明公民館の移転新築に向けた建物の基本・実施設計と敷地造成工事に着手いたします。

前橋工科大学では、校舎の空調設備改修を計画的に

行い、教育研究環境の向上を図ってまいります。

「ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり」では、国登録有形文化財である旧本間酒造の施設改修や、国指定重要文化財である阿久沢家住宅の耐震診断を実施いたします。

また、アーツ前橋、前橋文学館では、様々な企画展を開催し、引き続き市民の芸術文化活動を推進してまいります。

## 2 結婚・出産・子育て

結婚や出産の希望をかなえられ、子育てを楽しむことができるまちづくりに取り組んでまいります。

「結婚や出産に対する支援の充実」では、男女の出会いの場を創出する団体への支援や、不妊や不育症の治療を行う方への助成を継続実施いたします。

「子育て支援の推進」、「子育てと仕事の両立支援」では、既存の産後ヘルパー派遣事業に加え、新たに病院と連携したデイサービス等の実施により、出産後の

母親の心身のケアや育児支援を行う、産後ケア事業を開始いたします。また、おたふくかぜの予防接種費用を無料化し、子育て世帯の更なる負担軽減を図ってまいります。

このほか、放課後児童クラブを増設して子供が安心して過ごせる環境を整備するとともに、市内3か所目となる病児保育施設を開設し、働きながらの子育てを支援いたします。

これらに加え、国の施策である幼児教育の無償化に伴い、新たに保護者負担となる保育所等の副食材料費について、第3子以降の児童分を本市独自に無料化し、少子化対策と子育て支援に取り組んでまいります。

### 3 健康・福祉

生涯を通じた健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちづくりに取り組んでまいります。

「地域包括ケアの推進」では、多様な職種で構成す



る「自立支援型地域ケア個別会議」を立ち上げ、様々な事例や課題の検討を通じて、要支援者等の自立支援とあわせ、地域で高齢者を支える関係者のスキルアップを図ってまいります。

また、認知症や知的障害などにより判断能力が不十分な方に代わって、財産や権利を守り、本人を支援する成年後見制度について、新たに相談窓口を設置し、周知と利用促進を図ってまいります。

このほか、生活困窮者の自立支援では、フードバンク事業や、生活保護世帯・生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援等を継続実施いたします。

障害者福祉では、聴覚障害の方への理解と意思疎通支援のため、新たに小学校児童向けの手話教室や、市民向けの要約筆記体験教室を開催するほか、障害者支援施設等の整備に対して引き続き助成いたします。

「健康づくりと介護予防の推進」では、健康診査及びがん検診の受診率向上に引き続き取り組むとともに、高齢者が地域で元気に活動を続けられるよう、ピ

ンション元気体操を3年以上実施している団体に対し、新たに支援いたします。

また、第7期スマイルプランに基づき、グループホームをはじめとする地域密着型サービスの基盤整備を引き続き進めてまいります。

#### 4 産業振興

市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちづくりに取り組んでまいります。

「地域の産業の活性化」では、若者のU I Jターンなどを更に推進するため、高校生を対象とした体験型企業説明会を、民間企業との共催で実施いたします。

企業誘致では、企業立地促進条例の有効期限を延長し、引き続き企業の誘致を推進するとともに、市内企業等の支援を継続してまいります。また、新たな産業用地確保に向けて、引き続き調整等を進めてまいります。

このほか、中小企業等が行うIT環境の整備に対する補助を拡充し、地域産業の経営力強化を図るとともに、本市の産業振興の指針である「前橋市産業振興ビジョン」を改定いたします。

「働く意欲と機会の創出」では、ジョブセンターまえばしを拠点とした就職支援をはじめ、群馬県や商工会議所との連携による雇用促進などを総合的に進めてまいります。

「魅力ある農林業への転換」では、農業の担い手の育成・確保のため、認定農業者等に対する機械や設備の導入のための支援に継続して取り組むとともに、新たに農業用大型特殊車両の運転免許取得費や高齢な農業者の機械等購入費への助成を実施いたします。

このほか、赤城の恵ブランドや前橋産農畜産物の県内外における販売促進などに引き続き取り組んでまいります。

ほ場整備では、老朽化した農業用水路等の長寿命化に向けた計画策定に着手するとともに、上細井<sup>ちゅうせいぶ</sup>中西部

地区の土地改良事業をはじめとした農村環境の整備を進めてまいります。

## 5 シティプロモーション

地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいまちづくりを進めてまいります。

「地域資源を活かした新たな観光振興」では、上武道路の「道の駅」について、2021年7月のオープンを目指して、施設の設計や用地取得等を進めてまいります。

また、赤城山観光の担い手となるDMOの活動支援を継続し、赤城南麓地域におけるスローシティ推進に取り組むとともに、民間事業者による赤城山大沼周辺の通信環境整備に対しても支援し、高画質な画像や映像配信など、高速で大容量の安定した通信を活用した赤城山の観光振興などにつなげてまいります。

歴史文化遺産の活用では、前橋四公祭や総社秋元公歴史まつり等のイベントを計画的に開催いたします。

スポーツ振興では、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、ハンガリーの柔道・レスリングやベラルーシのトランポリン、南スーダンの陸上など、各国の競技の強化選手を受け入れるとともに、国際大会を誘致し、スポーツを通じた交流を図ってまいります。

このほか、市民球場の拡張設計や、大渡体育館の改築工事、大渡温水プールの改修工事など、体育施設の整備にも取り組んでまいります。

「移住・定住促進」では、移住コンシェルジュと連携した取組を継続するとともに、地域おこし協力隊を拡充し、地域づくりと移住促進の一体的な推進に加え、観光振興やまちなかの活性化といった様々な場面での活躍を支援いたします。

「市民主体の魅力づくりの推進」「魅力的なまちづくりの推進」では、中心市街地の民間再開発や住宅転用等の整備を引き続き支援することにより、まちなか居住と市街地活性化に向けて取り組むほか、広瀬川河

畔を市民の憩いの場やにぎわい創出の場として、計画的に整備を進めてまいります。

このほか、まちなかで開催する七夕まつり、前橋まつりをはじめとした様々なイベントをより効率的・効果的に実施できる体制づくりについて、関係団体との検討を進めてまいります。

## 6 都市基盤

人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤を構築し、将来にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりを推進いたします。

「都市機能の集約と拠点性の向上」では、都市計画マスタープランの改訂を行うとともに、景観計画や地区計画に定めた地区において、豊かな景観形成を図るための色彩基礎調査を実施いたします。

また、土地区画整理では、機能的な土地利用や防災機能の向上を目指し、12地区における事業を引き続き進めてまいります。

「交通ネットワークの充実」では、新たに人工知能（AI）による配車システムを活用し、地域デマンド交通の最適化により利用者の増加を図るほか、バス交通網について、運行本数やダイヤといった具体的な再編の実施計画を策定いたします。

また、市の委託路線バスへの交通系 IC カード導入に対して支援するとともに、城南地区の地域内交通の運行に対しても助成を行い、住民主体の取組を支援いたします。このほか、移動困難者対策としてのマイタク制度を継続実施いたします。

道路整備では、新市建設計画及び新市基本計画に位置付けられた路線の整備や、橋りょう及び舗装の長寿命化修繕計画に基づく維持修繕などに取り組み、豊かな都市基盤づくりを推進してまいります。

「環境配慮型社会の形成」では、新エネルギーの導入として整備した太陽光発電や小水力発電による売電収入を原資とする「絆でつなぐ環境基金」を活用して、地域住民が実施する有価物集団回収や公園緑地愛

護会活動への助成を拡充するなど、本市の環境に資する取組を広く支援いたします。

清掃施設では、六供清掃工場の延命化工事に引き続き取り組むとともに、亀泉清掃工場と大胡クリーンセンターの年度内の閉鎖に向けて、市民の自己搬入ごみ受入施設を六供清掃工場敷地内に整備いたします。

このほか、新最終処分場の建設に向けては、基本構想の策定と用地選定を進めてまいります。

「安全・安心なまちづくりの推進」では、子供の犯罪被害防止等を図るため、市内全小学校の通学路に防犯カメラを設置いたします。

また、災害への対応強化として、西消防署利根分署の建替工事に着手するとともに、119番通報を受信する通信指令システムの更新について、県内5消防本部による共同化を進め、より効率的な消防体制の構築を図ってまいります。

水道事業では、災害発生時に重要な役割を担う病院や防災拠点などに給水する管路の計画的な耐震化を



開始するほか、敷島浄水場の配水塔築造工事に着手いたします。

下水道事業では、緊急度の高い重要な下水道<sup>かんきよ</sup>管渠の耐震化を計画的に実施するとともに、六供町の水質浄化センターの更新に向けて、更新後の施設全体像や更新スケジュールを含めた基本構想を策定いたします。

このほかの都市基盤として、住環境の整備では、空き家の活用を促進するためのリフォーム支援や二世帯近居・同居住宅支援を引き続き実施するほか、公営住宅等長寿命化計画を改定いたします。

公園整備では、総合運動公園の拡張工事や荻窪公園の県道南ゾーンの造成工事を引き続き実施するとともに、都市公園のバリアフリー化や老朽施設の更新に取り組んでまいります。

これらのほか、行財政運営の面では、平成31年度からの新たな行財政改革推進計画に基づき、民間委託の推進や窓口業務のワンストップ化、公共施設の効率

化・最適化といった方針を掲げ、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

以上が予算に盛り込んだ主要な施策であります。

本市においては、子育て環境の充実や高齢化に伴う医療・介護等の社会保障費の増加に加え、計画している大型事業に多額の費用が見込まれております。このため、厳しい財政状況は今後も続くものとは考えておりますが、本市が「新しい価値の創造都市」となるために、前橋らしさを発揮し、更なる発展に向けて職員が一丸となってそれぞれの施策に取り組むとともに、市民の皆さんと手を取り合って、まちづくりに力を注いでまいります。

議会の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上、当初予算案の大要について、ご説明いたしました。